

## 8 グランドシートをセットする場合

①グランドシートのファスナーを開けてテント内にグランドシートを広げます。(図28)

- ・ファスナーのある方向が入口側になります。
- ・[tent-mark]の印刷面が表側になります。

(図28)



②メインポールを少し持ち上げグランドシートをメインポール下に敷きます。(図29)

(図29)



③グランドシート四隅の樹脂フックで上下2ヶ所をテントと接続します。(図28) (A)

④グランドシートのセンターファスナーを閉じます。

※ファスナーを開けて土間として使用する際は、グランドシートのトグル部分に生地を巻留めて使用してください。

## 9 最終確認

⚠ 使用前にテント内外を一周し設営状況を確認してから使用してください。

- テントのゆがみ
- 生地破損、フレームの変形
- 張綱やテープのゆるみ
- ペグの抜け
- メインポールの傾き、ぐらつきがないこと
- テント内部の地面に鋭利な物がないこと
- 収納袋、ハンマーなどの収納



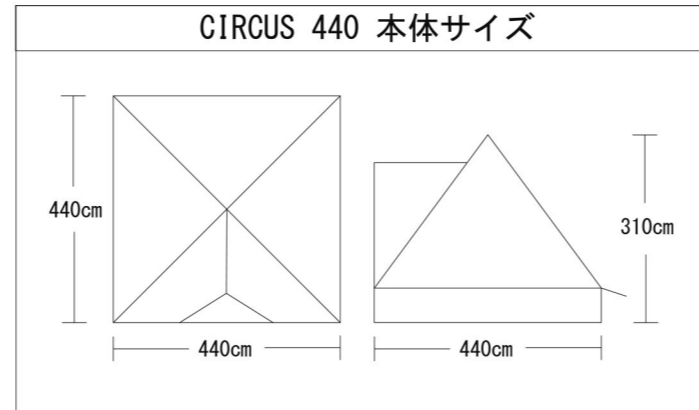
## 10 収納方法

- ①使用後はテントの結露、汚れをふき取ります。
- ②良く乾燥させてから、設営の逆の順序で撤収、収納してください。

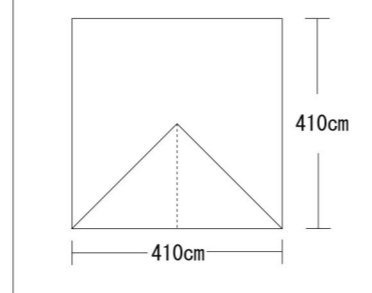
## セット内容

- 本体生地 × 1
- グランドシート × 1
- メインポール × 1
- サイドフレーム [カラー：レッド] × 4
- サイド(センター)フレーム [カラー：ゴールド] × 3
- エントランスフレーム [カラー：レッド] × 1
- フレームバッグ × 1
- ペグバッグ × 1
- 収納袋 × 1
- ガイラインテープA × 2
- ガイラインテープB × 2
- 張綱S (1.5m ※2穴自在付) × 9
- 張綱M (3.5m ※2穴自在付) × 3
- 張綱L (4m ※三角自在付) × 1
- ペグ × 27 (※スチール製)
- 取扱説明書(本書) × 1

## 製品サイズ



## グランドシートサイズ



製品サイズ(約)：本体：幅440cm×奥行440cm×高さ310cm

グランドシート：幅410cm×奥行410cm

立ち上がり15cm

製品重量(約)：22kg(ペグ、張綱、収納バッグを含む)

## 材質

- 本体：ポリエステル210d(PU加工/耐水圧1500mm、テフロン撥水加工)
- フレーム：スチール
- グランドシート：ポリエステル210d(PU加工/耐水圧1500mm)
- ガイラインテープ：ポリエステル
- 張綱：ポリプロピレン
- ペグ：スチール
- 収納袋：ポリエステル

発売元 **株式会社カンセキ**  
〒321-0158  
栃木県宇都宮市西川田本町3-1-1

MADE IN CHINA



TM-440

## CIRCUS 440 取扱説明書



本書は製品を安全に使用するための禁止事項と設営方法を記載しております。使用前に必ずお読みください。また必ず製品とともに保管してください。

## ⚠ 警告

- ・ベンチレーターや出入り口が完全に閉まった状態で使用すると酸欠による事故の可能性があります。必ず定期的に換気をするか、ベンチレーターを開けた状態で使用してください。
- ・テント内で火気は絶対に使用しないでください。
- ・台風、暴風雨の際は絶対に使用しないでください。
- ・使用中は天候の変化に注意し突風や豪雨、雷などの悪天候が予測される場合は使用を中止しすみやかに撤収、安全な場所へ退避をしてください。

## ⚠ 注意

- ・快適なキャンプのために製品の破損や付属品の不足がないことを確認してから使用してください。
- ・必ず周囲の安全を確認し広い場所で組み立て使用してください。特にお子様がいる場合はフレームがぶつかったりしないよう十分にご注意ください。
- ・設営及び撤収の際は手袋等を着用し、安全に作業をしてください。
- ・説明書に従いすべての張綱を確実に固定した状態でご使用ください。
- ・焚火のそばなど火があたる可能性のある場所、火の粉がかかる恐れのある場所では使用しないでください。
- ・テント内と外気の温度差、使用人数が多い場合は結露が生じテント内に水滴が付く恐れがあります。
- ・製品に使用している素材は使用頻度に関わらず湿度、日光、温度などの環境要因により徐々に劣化します。
- ・お客様による製品の改造、誤った使用方法による事故や故障につきましては一切の対応をお断りいたします。
- ・常設用ではありません。直射日光の常時当たる環境でご使用となる場合は退色や生地の劣化が進み短期間で製品寿命となる場合があります。
- ・砂地や河原など付属のペグで固定が不十分な場合は、別途設営場所に合わせた市販のペグをご用意ください。

## メンテナンス、保管上の注意

- ・使用後は汚れを良く落とし、乾燥させてから収納、保管してください。
- ・濡れたままや汚れたまま収納保管すると、カビや臭いの発生、色移り、生地の劣化を早めます。
- ・製品の破損、故障についてはご購入いただいた販売店までご相談ください。

# 設営方法

## 1 設営前の確認

- セット内容の確認をして不足や破損、異常がないか確認します。
- 気象条件、地面の状況、設営の向きを考慮して設営場所を決定します。

## 2 本体を広げます。

①本体生地を正方形に広げます。(図1)

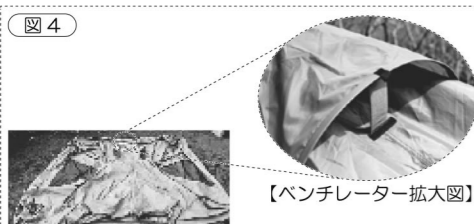
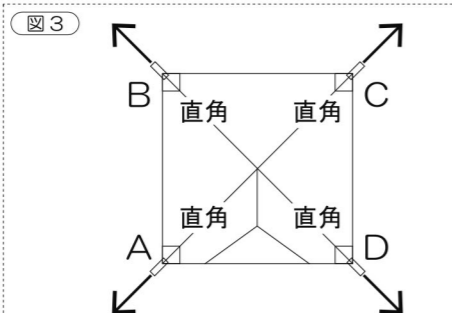
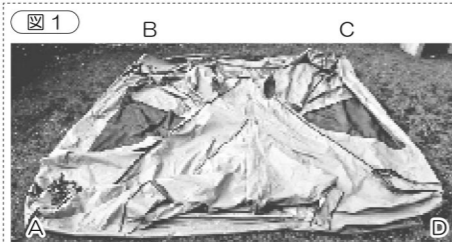
②はじめにAをペグで固定します。(図2)

③同様にB→C→Dの順序でペグダウンします。(図3)

※対角線上に少し引っ張りながら裾部の角が直角になるように位置を調整してください。

④テント中央2か所のベンチレーターを組み立てます。(図4)

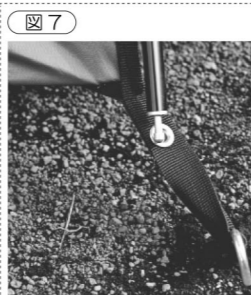
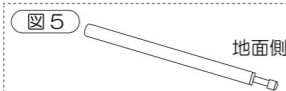
⑤ベンチレーター内部の板を立ち上げ面ファスナーで固定します。(図4【ベンチレーター拡大図】)



## 3 サイドフレームを取り付けます。

①フレームの方向に注意してテント本体四隅のスリーブにフレームを差し込みます。(図5)(図6)

②次にフレーム末端の突起をペグループのハトメ穴に差し込んで固定します。(図7)



## 4 メインポールをセットします。

①メインポールを組み立てます。(図8)

②テントの内側から屋根部頂上にあるメインポール受けを確認します。(図9)

③ポール受けとメインポール天井側先端を合わせます。

④メインポールをゆっくりと上方向に起こして屋根を立ち上げます。

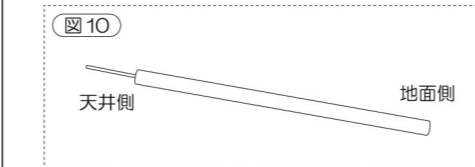


ご注意ください!

生地を持ち上げるために強い力が必要ですが、ペグの抜けや生地が破れたりしないように注意しながらゆっくりと立ち上げてください。

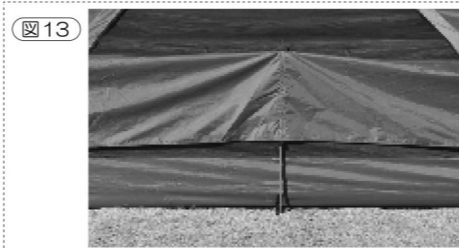
## 5 サイド(センター)フレームを取り付けます。

①入口以外の側面3ヶ所の中央のスカートをめくりポール天井側を差し込みます。(図10)(図11)



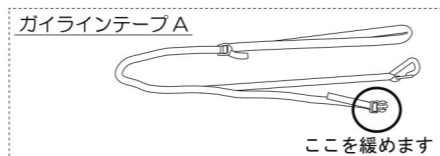
②地面側をバネピンに差し込みます。(図12)

③スカートの内側にポールがセットされます。(図13)



## 6 ガイラインテープをセットします。

①テント入口側の左右2か所A部分張網用ループにガイラインテープAのカラビナを取り付けます。(図14)



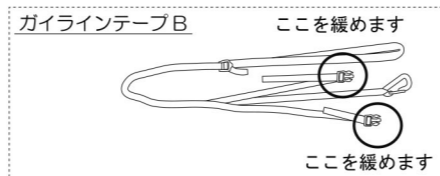
②ガイラインテープ下側Bをテント本体と接続します。(図15)

※テープはゆるめておきます。

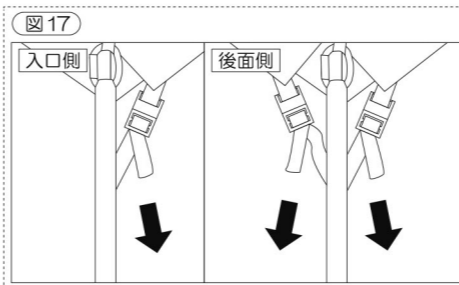
写真のように下側テープは緩んだ状態にします。緩んでいないと破損する恐れがあります。

③ガイラインテープをテント対角線延長上に伸ばして地面にペグダウンします。

④テント入口反対側2か所にも同様にガイラインテープBを取り付けます。(図16)



⑤四隅のペグダウンが終わったら樹脂バックル側のテープ(計6か所)を少しずつ引き絞りスカートの張りを調整します。(図17)



## 7 エントランスポールをセットします。

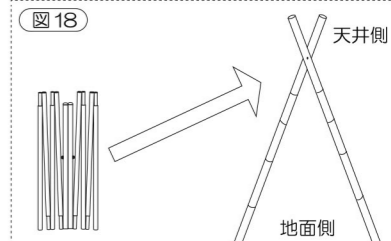
①エントランスフレームを組み立てます。(図18) ※ポールの交差部分が天井側になります

②テント入口上側についているテープ端のリングを本体から見て外側のエントランスフレームに通します。(図19)

③テント入口下部の左右2か所の金属ピンをエントランスフレームに差し込みます。(図20)

④金属ピン上部にある面ファスナーでフレームとテントを取り付けます。(図21)

⑤ベロクロテープでエントランスフレームを接続します。



## 8 張網を固定します。

①張網(L)を本体から見て内側のエントランスフレームに取り付けます。

②張網を地面にペグダウンします。(図22) A

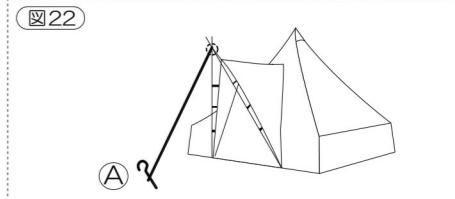
※風でばたつかず、テントの生地が変形しない程度の強さに自在金具で張網の長さを調整します。

③屋根両側面と屋根後面中央の張網用ループに張網(M)を取り付けペグダウンします。(図23)

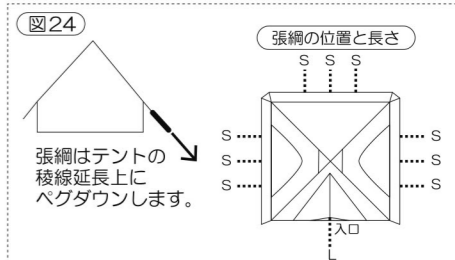
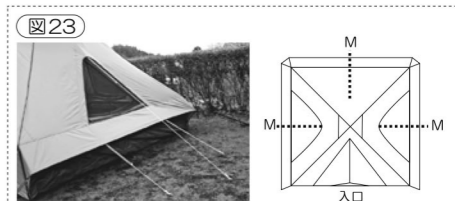
※3面すべて取り付けてください。

④スカートの中央付近3か所にある張網用ループに張網(S)を取り付けペグダウンします。(図24)

※スカートのついてる3面すべてをペグダウンします。(計9か所)

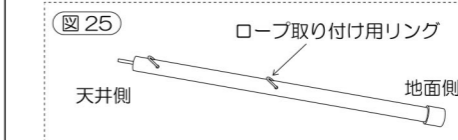


7の②の時に張網をポールにかけておくとうラクです。



## 7 ベンチレーターロープをセットします。

①紐の絡まりをほどき、自在でロープを伸ばした状態で、樹脂フックをポールの下のリングに取り付けます。(図25)(図26)



②自在を上下させることにより、ベンチレーターが開閉します。(図27)

